

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：32004
学校名：札幌市立北陽中学校

改訂のポイント		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育目標「豊かに拓く」に基づき、自ら学び、人と学び合う生徒の育成をめざす。 ○ 新学習指導要領について学習し、また、授業および授業外での道徳の実践を進める。 		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 【深く考え、積極的に学ぶ人】自ら学ぶ方法を身に付けると同時に、自分の考えがうまく伝わるように発信力を高めながら人と学び合う力を身に付ける。 ☆ 【何事にも根気強く実行する人】自ら目標を設定し、実現に向けて努力を惜しまない 		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○研究主題を「『豊かに拓く』生徒の育成」とし、話し合いを通じた学びを通じた意欲上場を目指した。 ○長期休業明けに国・数・英の学習コンテストを実施し、自分の「伸び」を実感させ、学習意欲を喚起させるとともに新たな目標をもたせた。 	【成果】 ⇒学ぶ意欲において、共通指標における「分からないことは、自分で調べてはつきりさせようとしている」や「意見の違う人とも、よく話し合おうとしている」に対して肯定的な回答した生徒が前年度より増加し、取組の成果が表れている。	【課題】 ◇「授業中、自分で疑問やめあてをもって学習に取り組もうとしている」は7割弱である一方、教師側の回答は9割以上と大きな差があり、もっと明確に目標設定をしていく必要がある。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○校内研修会では理科の研究授業を行い、教科と道徳とのつながりの視点から、話し合いを行う過程で、物事を多面的・多角的に考える学習について討論した。 	【成果】 ⇒道徳と他教科のつながりの観点から、道徳の授業において話し合いしやすい環境づくり（話し合いのスタイルや話し合いに集中しやすい環境）を重点的に行い、各教科での実践につなげることができた。	【課題】 ◇共通指標における「自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている」に対する回答や全国学力・学習状況調査の結果から、課題解決に向けて努力して取り組むことや、自分の考えがうまく伝わるように話したり書いたりすることへの指導がさらに必要である。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> ○OTTや習熟度別少人数指導の実施や学びのサポーターによる授業中の個別支援を行った。 ○教育相談期間や長期休業を利用して、学力向上を目指して「学習会」を開催し、学習支援を行った。 	【成果】 ⇒共通指標において「勉強で同じ間違いを繰り返さないように気を付けている」に対して肯定的な回答をした生徒が前年度より増加した。	【課題】 ◇「普段から、計画を立てて勉強している」と回答した生徒が前年度より微増したものの、まだ少ない結果となっており、教師側の回答との差が見られる。全校的に計画的な学習への指導に取り組む必要がある。
今年度の改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 課題探求的な学習を通して、主体的に考え、判断し、表現しながら深く学ぶ活動（継続2年目） </div>		
	具体的な改善策（取組）	<ul style="list-style-type: none"> ○体験的な活動や言語活動、課題探求的な学習スタイルをできるだけ多く取り入れる。 ○OTTや習熟度別少人数指導を充実させ、生徒が成功体験を多く実感できるようにする。 ○校内研修を充実させ、授業交流を日常化し、表現力や思考力を伸ばす指導方法を研究する。 ○教育相談日の期間や長期休業期間を利用し、各学年の副担任を中心に学習支援を行う。 		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等） ○全国学力・学習状況調査、観点領域別達成度検査（WAT）の結果の活用 ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）、生徒アンケート、保護者アンケート、教職員アンケートの活用 		